

## 令和2年度

# 決算報告

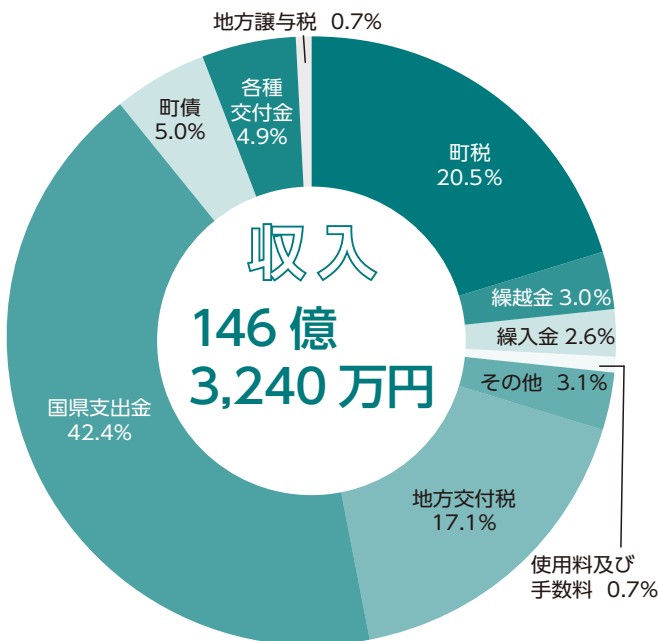
9月の定例議会で、令和2年度の一般会計と2つの特別会計、2つの公営企業会計の決算が認定されました。その主な内容をお知らせします。

問い合わせ 総務課

### 令和2年度の収支について

新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予算に計上していた事業の中止や延期、事業計画の見直しを行いました。一方で、第1号、第11号の補正予算を編成し、特別定額給付金をはじめとする国の新型コロナウイルス感染症の關係事業や、町独自の緊急経済対策などを適時に行ってきたことで、過去にない大規模な決算額となりました。

新型コロナウイルス感染症に関連する取り組みは6、7ページで紹介しています。



## 収入の状況

収入総額は146億3,240万円となり、前年度から37億7,584万円増加しました。前年度に比べ自主財源は、町民税や固定資産税などの町税が増加しましたが、岡垣サンリーアイをはじめとする公共施設の休館などにより、使用料が減少しました。また、基金の取り崩しである繰入金も減少しました。

国や県などからの依存財源は地方交付税や地方消費税交付金の増加のほか、新型コロナウイルス感染症対策に関連する交付金などで国庫支出金が大幅に増加しました。また、金融機関からの借入金である町債も増加しました。

## 支出の状況

支出総額は141億7,011万円で前年度から37億5,462万円増加しました。前年度に比べ、社会保障費などの扶助費や繰出金、町債の返済金にあたる公債費が増加しました。

一方で、普通建設事業費は認定こども園の施設整備への支援や町内の全小中学校の空調設備の整備が令和元年度に完了したことから、令和2年度は減少しています。

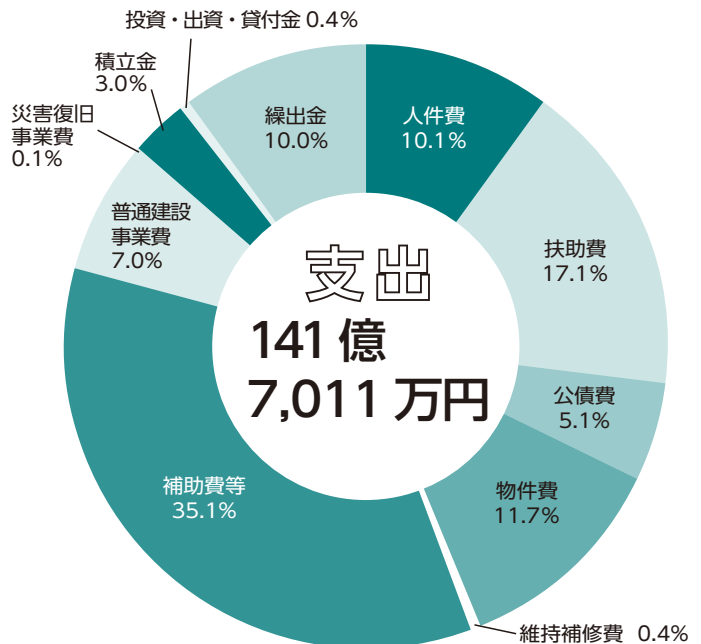
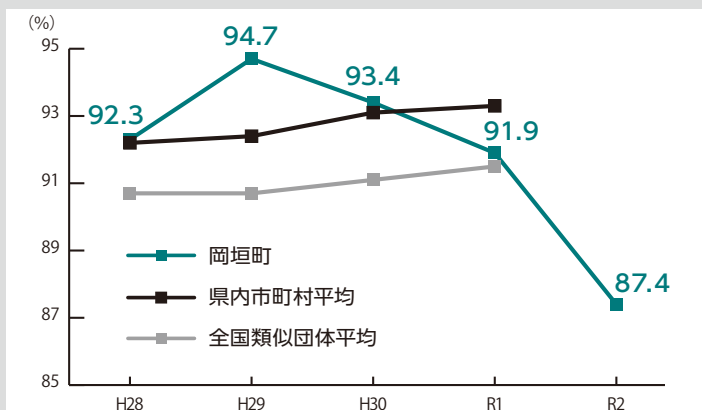




図1 経常収支比率の推移



**収支の状況**

一般会計の収入と支出の差引額から令和3年度に繰り越す必要がある財源の1179万円を除いた実質収支は4億5050万円となりました。

令和2年度の純粋な収支である単年度収支は1億4560万円の黒字、実質単年度収支(※1)は1億4804万円の黒字となりました(表1)。また、財政状況の余力を示す経常収支比率(※2)は、前年度から4.5ポイント改善し、87.4%となりました(図1)。

表1 単年度収支の算出

	令和元年度 (A)	令和2年度 (B)
実質収支	3億490万円	4億5,050万円
単年度収支 (C) (B - A)	2,921万円	1億4,560万円
財政調整基金積立額 (D)	1億5,285万円	244万円
財政調整基金取崩額 (E)	1億5,000万円	-
実質単年度収支 (C+D-E)	3,206万円	1億4,804万円

※1 実質単年度収支

単年度収支に財政調整基金への積み立て額を追加し、取り崩し額を引いたものとなります。

※2 経常収支比率

財政状況の余力を示す数値。人件費などの経常的に支出される経費と、町税などの経常的に収入される一般財源との比率であり、数値が低いほど財政状況に余力があるとされています。

※当該年度と前年度の実質収支の差額  
※千円以下は四捨五入

**基金と町債**

基金からの繰入金は、前年度比1億2071万円減の3億8313万円で、基金への積み立てが上回ったことから残高が3820万円増加しました(図2)。基金残高が増加したのは、平成24年度以来となりました。

一方で、町債借入額は前年度比1億4554万円増の7億3550万円で、町債残高は前年度末と比較して4593万円増加しています(図3)。

※表示単位未満を四捨五入しているため、差引額などが一致しないことがあります。

## 基金残高が8年ぶりに増加に転じた

図2 基金残高の推移

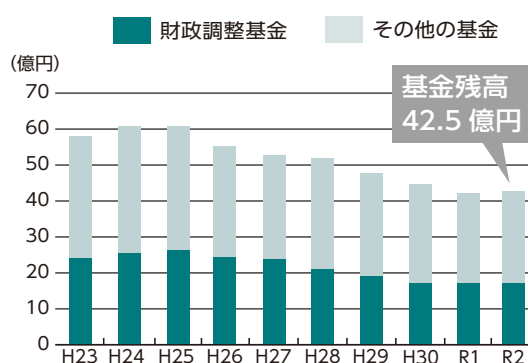
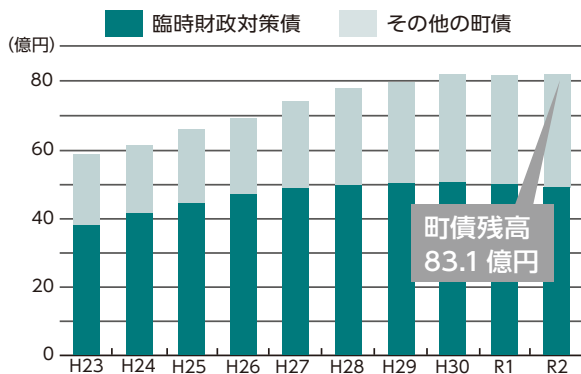


図3 町債残高の推移



— 令和2年度の主な取り組みを紹介します —

# 持続可能なまちづくりの実現に向けて



## 保育サービスの充実



6億346万円

幼児教育・保育無償化に適切に対応しながら、待機児童の解消に向けて、保育所や幼稚園などの施設関係者との連携を強化し、安定的で良質なサービスの提供に向けた取り組みを進めました。



## 子育て支援サービスの充実

878万円

妊娠、出産から子育て期の過程に必要なサービスを切れ目なく提供できる体制を整備するため「子育てあんしん課」を設置。専門職による母子保健、児童虐待防止などの個別支援や関係機関との連携のほか、SNSを活用した子育て情報の配信を行いました。



560万円



令和3年度からの10年間のまちづくりの方向性を示す「第6次総合計画(まちの未来計画)」を策定しました。

まちの未来  
計画の策定



■高齢者福祉サービスの実施	6,991万円
■障害福祉サービスの実施	9億4,000万円
■健康づくりの推進	2,032万円
■道路や橋の環境整備	1億6,343万円
■コミュニティバスの運行など	7,011万円 など



■ため池の防災対策	4,113万円
■農業用施設の整備	5,941万円
■荒廃した森林の整備	1,332万円
■漁業の振興	425万円
■商工業の振興	1,047万円 など



## 安心 定住促進対策

1億4,288万円

子育て世帯などの定住人口の増加による地域の活性化と空き家の流通を同時に促進することを目的に、これまでの制度を見直しました。見直しに伴い中古住宅の取得や解体新築に対する支援などを行いました。また、民間の宅地開発を支援しました。



9,383万円

災害想定の見直しや新たな指定に対応するためハザードマップを新しく作成しました。また、緊急防災無線設備を更新し、緊急情報などを確実に伝達するための整備を行いました。



防災体制の充実

## 輝き 観光振興

3,715万円

観光協会などと連携しながら、観光PRを強化するとともに、サーフィンやSUP（スタンドアップパドルボード）、レンタサイクルなどをはじめとする体験型観光を推進しました。



5,531万円

寄附金の増加と産業の活性化や観光振興につなげるため、新たな返礼品の開拓やPRのための掲載サイトの充実などに取り組みました。令和2年度の寄附金額は1億1,623万円と前年度から7,352万円増加しました。



おかがき応援寄附金事業の推進

輝き 輝き

安心 安全安心

心の豊かさ

計画の推進

それぞれの取り組みが、第5次総合計画に掲げる「まちの将来像」のどの分野に当てはまるかを、上のアイコンでそれぞれ示しています。

## その他の取り組み



■コミュニティ活動への支援	580万円
■広報おかがきの発行など	479万円
■ボランティアセンターの運営	640万円
■自治公民館活動の支援	460万円
	など



■小中学校の施設整備	9,519万円
■岡垣サンリーアイの管理運営	2億4,876万円
■子ども医療費の支援	9,807万円
■学童保育所の運営	9,567万円
■英語教育の充実	1,821万円
	など

# 新型コロナウイルス感染症対策

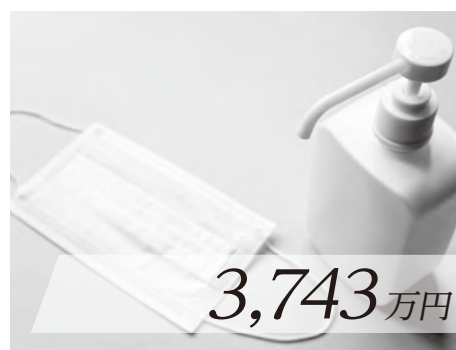
令和2年度の支出総額 141 億 7,011 万円のうち、39 億 3,591 万円を新型コロナウイルス感染症対策費として支出。そのうち、38 億 8,073 万円は国や県からの補助金などを有効に活用して実施しました。感染症対策として取り組んだ事業を紹介します。

## 感染予防対策

公共施設や学校施設などでの感染を防止するため、マスクや消毒液、空気清浄機などの購入や定期的な消毒作業を行いました。また、民間の保育所施設での感染症対策に補助を行いました。

【主な取り組み】

- 小中学校での感染防止対策 1,457 万円
- 保育所・学童保育所・こども未来館での感染防止対策 497 万円
- 避難所の感染防止対策グッズなどの配備 589 万円



## 医療提供体制の確保

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行による医療機関の混乱を避けるため、インフルエンザ予防接種費の助成対象者拡大や医療機関従事者などの予防対策に助成を行いました。

【主な取り組み】

- インフルエンザ予防接種費の助成対象などの拡大 890 万円
- 医療・福祉施設などへの感染予防対策費の助成 1,125 万円

## 住民生活への支援

経済的な負担を軽減するため、給付対象者 1 人につき 10 万円を給付する特別定額給付金事業を実施しました。また、令和2年10月に予定していた上下水道料金の改定を延期しました。

【主な取り組み】

- 特別定額給付金の給付 31 億 8,788 万円
- 上下水道料金改定の延期に伴う上下水道会計への補助 7,148 万円



### 国民健康保険事業

収入	32 億 953 万円
支出	30 億 5,293 万円

### 後期高齢者医療事業

収入	5 億 9,458 万円
支出	5 億 7,647 万円

特別会計

### 水道事業

	収益的収支	資本的収支
収入	5 億 4,640 万円	1 億 2,636 万円
支出	4 億 6,486 万円	3 億 1,569 万円

### 下水道事業

	収益的収支	資本的収支
収入	9 億 8,707 万円	3 億 4,252 万円
支出	8 億 9,505 万円	5 億 9,029 万円

※収支金額は税抜きの金額。資本的収支の不足額は、公営企業に留保している資金で補っています。

公営企業会計

令和2年度  
公営企業会計  
特別会計  
2つの公営企業会計と2つの特別会計の令和2年度決算額をお知らせします。

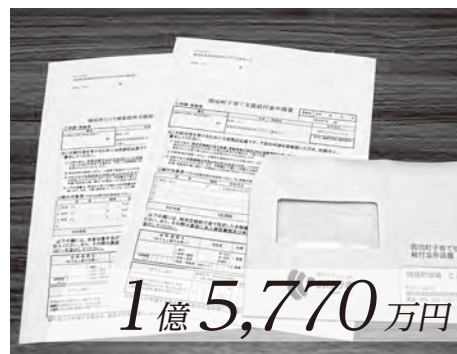


## 教育・子育て支援

子育て世帯の経済的な負担を軽減するための給付金や商品券の給付、一斉休校に伴う児童生徒の課題をサポートするスタッフの配置など、子育て世帯の生活や子どもの学びを支援しました。

### 【主な取り組み】

■休校時の学童保育所の開設	642万円
■子育て世帯などへの給付金	1億185万円
■スクールサポーターの配置	900万円



## 事業者への支援

緊急事態措置などにより、経済活動を制限されるなど感染症の影響を受けた事業者を支援するために岡垣町独自の緊急経済対策などを行いました。

### 【主な取り組み】

■緊急つなぎ給付金	6,111万円
■プレミアム商品券の発行補助	2,841万円
■テイクアウトを含む飲食店の利用促進	1,252万円

## 新しい生活様式に向けた環境づくり

コロナ禍においても児童生徒の学習機会を保障するための児童生徒1人1台端末の整備をはじめ、新しい生活様式に対応するための環境づくりを進めました。

### 【主な取り組み】

■児童生徒への1人1台端末の整備	2億1,785万円
■自治区への活動支援	2,963万円
■岡垣サンリーアイ電子図書館の導入	3,157万円



### 今後の財政運営

令和2年度は過去にない大規模な決算額となりましたが、国や県からの補助金などを有効に活用したことや、近年の財政状況の改善に向けた取り組みなどにより、基金残高を維持することができました。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響で例年の決算とは比較できない部分があり、今後も感染症が財政運営に与える影響を注視していくことが重要です。

令和3年度から、第6次総合計画である「まちの未来計画」に沿ったまちづくりが始まりました。新型コロナウイルス感染症の動向など直面する課題に対応しつつ、人口減少社会や急速に進む少子高齢化など、今後の町を取り巻く状況を踏まえながら、「持続可能なまちづくり」の実現に向けて、長期的な視点による効率的で健全な財政運営を行います。

